３　総合的な学習の時間・生活科（地域共育カリキュラム）

1. ねらい

　　①　戸沢村を拠点にし、「ひと」、「もの」、「こと」とのかかわりを重視し、設定されたテーマに基づき、収集・編集・表現の過程を通じて、課題解決できる資質・能力等を育成する。

　　②　学年のテーマに迫るために、自分の興味・関心のあることを主体的・対話的に探究する中で、思考・判断し、根拠をもとに表現できる資質・能力を養う。

1. 具体策
   1. 実体験とICT機器の効果的な活用によるハイブリッドな学習により探究の学習サイクルを

展開する。

* 1. 体験活動のみにとどまらず、事前事後の学習を重視し、探究の学習サイクルを効果的に回

しながら次の学習につなげる。

* 1. 学習情報の「収集」、「編集」、「表現」の過程でICT機器を効果的に活用する。
  2. 9か年　の「収集」、「編集」、「表現」の探究のサイクルを意識しながら、各学年のテーマに

沿って年間の探究のサイクルを回して学習活動を行う。

* 1. 「表現」については、伝える対象を意識し、相手意識を持ちまとめ、効果的なプレゼンテー

ションになるよう配慮する。

* 1. 縦割りの活動「TOZAWORK」や「共育タイム」は、目的を共有し実施する。

1. 指導計画

　　　別表参照

1. 評価
   1. 多くのかかわりの中で、テーマに迫ることを目的に資質・能力を育成することができたか。
   2. 学習の各場面において、根拠をもとに、「思考」、「判断」、「表現」をすることができたか。